平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月5日

上場会社名　大日精化工業株式会社　　上場取引所　東
コード番号　4116　URL　http://www.daicolor.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 高橋　弘二
問合せ先責任者 (役職名) 取締役理財部門担当　(氏名) 武市　義彦　TEL 03-3662-7111

四半期報告書提出予定日　平成24年11月12日　配当支払開始予定日　平成24年12月5日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	75,825	△3.6	4,721	1.9	4,831	8.4	3,112	31.6
24年3月期第2四半期	78,686	△1.4	4,635	△8.0	4,457	△5.6	2,364	△25.8

(注)包括利益　25年3月期第2四半期　2,807百万円　(6.0%)　24年3月期第2四半期　2,649百万円　(42.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	33.52	―
24年3月期第2四半期	25.47	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	156,163	52,924	32.9	553.21
24年3月期	152,405	50,684	32.3	530.51

(参考) 自己資本　25年3月期第2四半期　51,366百万円　24年3月期　49,260百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	6.00	―	6.00	12.00
25年3月期	―	6.00			
25年3月期(予想)			―	6.00	12.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	160,000	2.5	9,100	6.8	9,100	6.7	5,400	25.2	58.16

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (1)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	93,065,554 株	24年3月期	93,065,554 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	212,893 株	24年3月期	209,430 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	92,854,569 株	24年3月期2Q	92,859,066 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関しましては添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8
（５）セグメント情報等 …… 9
（６）その他 …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間のわが国経済は、前半は震災復興需要やエコカー補助金などの政策効果により、緩やかながらも持ち直しの兆しが見られましたが、長期化する円高や海外経済の減速により輸出が減少するなど景気は足踏み状態になってきました。海外経済におきましては、米国経済は景気指標の改善に向かいましたが、欧州では債務問題の影響により引き続き景気は低迷いたしました。中国経済は欧州向け輸出の減少に加え、企業収益が低迷するなど減速感が強まりました。

この様な状況の中で、当第２四半期連結累計期間の売上高は、洪水被害を受けたタイ子会社の復旧途上による売上高の減少の影響もあり、758億２千５百万円（前年同期比3.6%減）となりました。利益面につきましては、営業利益は売上原価の改善や販売費及び一般管理費を削減したことなどにより、47億２千１百万円と同1.9%の増益となり、経常利益は為替差損が減少したことなどにより48億３千１百万円（同8.4%増）となりました。四半期純利益は、特別利益にタイ洪水に伴う受取保険金を計上したことや、特別損失の投資有価証券評価損が減少したことなどにより、31億１千２百万円（同31.6%増）となりました。

次に事業セグメントの業績についてご報告いたします。

なお、営業利益につきましては、全社費用等の配分前で記載しております。

（化成品事業）

当事業は、無機・有機顔料、各種着色剤、情報記録関連材料の製造・販売を行なっております。塗料業界向け並びにＩＴ関連業界向け情報記録関連材料は比較的堅調に推移しましたが、印刷インキ業界向けを中心とした顔料は低調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は118億２千６百万円（同9.6%減）となり、営業利益は20億２百万円（同6.8%減）となりました。

（化学品事業）

当事業は、各種合成樹脂着色剤・コンパウンド、各種コート材の製造・販売を行なっております。車両業界向けの各種コンパウンドはエコカー補助金などの経済政策を受け、国内車両業界を中心に回復基調が後半まで継続しました。また、生活関連業界向けの各種合成樹脂着色剤は猛暑の影響もあり全体的に堅調な受注が続きました。しかしながら、洪水被害を受けたタイ子会社の復旧途上による売上高の減少の影響を受け、事業全体としては前年並みの水準には至りませんでした。

これらの結果、当セグメントの売上高は402億３千４百万円（同2.0%減）となり、営業利益は23億３千８百万円（同22.2%減）となりました。

（高分子事業）

当事業は、高分子製品、天然高分子製品の製造・販売を行なっております。各種ウレタン樹脂は、エコカー補助金などの経済政策に支えられ、国内車両業界向けを中心に好調に推移しました。しかしながら、繊維業界向けは業界の在庫調整の影響を受け弱含みで推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は83億２千７百万円（同2.2%増）となり、営業利益は15億１千１百万円（同26.4%増）となりました。

（印刷総合システム事業）

当事業は、各種印刷インキの製造・販売及び事業に付帯する商品とサービスを提供しております。グラビアインキは、今夏の猛暑により、パッケージ業界向けが飲料関連を中心に堅調に推移しましたが、オフセットインキは流通関連を中心とした商業印刷業界向けが弱含みで推移しました。利益面につきましては、販売価格の改定や売上原価の改善などにより増益となりました。

これらの結果、当セグメントの売上高は144億８千８百万円（同6.5%減）となり、営業利益は12億２千６百万円（同48.5%増）となりました。

（その他事業）

当事業は、原材料の転売、グループ各社への不動産賃貸及び金融事業等を行なっております。

当セグメントの売上高は９億４千７百万円（同7.3%増）となりました。営業損益は、不動産賃貸にかかる収入を売上高に含めず営業外収益として計上したことなどにより、３百万円の損失となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

（資産）

当第２四半期連結会計期間末の総資産は1,561億６千３百万円となり、前連結会計年度末と比べ37億５千８百万円増加致しました。これは、在庫の手当などにより流動資産が35億５千７百万円増加したこと及び工場の新設により有形固定資産が８億４千９百万円増加したことなどによるものであります。

（負債）

当第２四半期連結会計期間末の負債合計は1,032億３千９百万円となり、前連結会計年度末と比べ15億１千８百万円増加致しました。これは、在庫手当による支払手形及び買掛金の増加などによるものであります。

（純資産）

当第２四半期連結会計期間末の純資産合計は529億２千４百万円となり、前連結会計年度末と比べ22億３千９百万円増加致しました。これは、四半期純利益の計上及び配当金の支払いの結果、利益剰余金が増加したこと及び保有株式の時価が下落したことによりその他有価証券評価差額金が減少したことなどによるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成24年５月11日に公表した以下の数値より変更はありません。

（百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
通期	160,000	9,100	9,100	5,400

なお、本日付けで「平成25年３月期第２四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ」を公表しておりますのでご参照ください。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による当第２四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成24年３月31日)	当第２四半期連結会計期間 (平成24年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,458	26,198
受取手形及び売掛金	45,731	45,622
有価証券	125	123
たな卸資産	22,246	23,645
その他	3,537	2,993
貸倒引当金	△141	△67
流動資産合計	94,958	98,515
固定資産		
有形固定資産		
土地	19,943	19,916
その他（純額）	21,486	22,363
有形固定資産合計	41,430	42,279
無形固定資産		
その他	981	970
無形固定資産合計	981	970
投資その他の資産		
投資有価証券	10,057	9,079
その他	5,342	5,489
貸倒引当金	△364	△170
投資その他の資産合計	15,035	14,398
固定資産合計	57,447	57,648
資産合計	152,405	156,163
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	30,266	31,784
短期借入金	25,042	24,915
1年内返済予定の長期借入金	9,110	7,967
未払法人税等	1,245	1,786
賞与引当金	2,024	2,073
環境対策引当金	209	182
その他	5,937	5,159
流動負債合計	73,836	73,870
固定負債		
長期借入金	17,501	19,416
退職給付引当金	7,631	7,211
役員退職慰労引当金	417	432
環境対策引当金	759	692
その他	1,573	1,617
固定負債合計	27,883	29,369
負債合計	101,720	103,239

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成24年３月31日)	当第２四半期連結会計期間 (平成24年９月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,039	10,039
資本剰余金	9,193	9,193
利益剰余金	34,642	37,198
自己株式	△89	△90
株主資本合計	53,786	56,341
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	629	85
繰延ヘッジ損益	△17	△19
為替換算調整勘定	△5,138	△5,040
その他の包括利益累計額合計	△4,525	△4,974
少数株主持分	1,424	1,557
純資産合計	50,684	52,924
負債純資産合計	152,405	156,163

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 (自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日)	当第２四半期連結累計期間 (自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日)
売上高	78,686	75,825
売上原価	65,816	63,153
売上総利益	12,869	12,672
販売費及び一般管理費	8,234	7,950
営業利益	4,635	4,721
営業外収益		
受取利息	14	20
受取配当金	118	109
負ののれん償却額	44	―
持分法による投資利益	41	30
保険配当金	157	201
その他	225	337
営業外収益合計	602	699
営業外費用		
支払利息	411	360
為替差損	247	125
その他	121	101
営業外費用合計	780	588
経常利益	4,457	4,831
特別利益		
受取保険金	―	432
その他	4	110
特別利益合計	4	543
特別損失		
固定資産除却損	42	74
減損損失	―	24
災害による損失	―	59
投資有価証券評価損	541	144
環境対策費	175	―
その他	0	52
特別損失合計	759	355
税金等調整前四半期純利益	3,702	5,019
法人税、住民税及び事業税	1,061	1,731
法人税等調整額	190	41
法人税等合計	1,251	1,772
少数株主損益調整前四半期純利益	2,450	3,247
少数株主利益	85	134
四半期純利益	2,364	3,112

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 (自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日)	当第２四半期連結累計期間 (自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,450	3,247
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	94	△554
繰延ヘッジ損益	7	△2
為替換算調整勘定	42	82
持分法適用会社に対する持分相当額	53	34
その他の包括利益合計	198	△439
四半期包括利益	2,649	2,807
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,579	2,664
少数株主に係る四半期包括利益	69	143

（３）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自平成23年４月１日　至平成23年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						調整額（注２）	四半期連結損益計算書計上額（注３）
	化成品事業	化学品事業	高分子事業	印刷総合システム事業	その他事業（注１）	計		
売上高								
(1)外部顧客への売上高	13,083	41,073	8,148	15,497	882	78,686	―	78,686
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	164	18	32	0	7,897	8,113	(8,113)	―
計	13,247	41,091	8,181	15,498	8,780	86,800	(8,113)	78,686
セグメント利益（営業利益）（△損失）	2,147	3,004	1,195	826	△144	7,030	(2,395)	4,635

（注）１．「その他事業」の営業損失は、当事業において当社グループ会社等への不動産管理、金融事業などの役務提供を営む会社が含まれているためであります。当事業に係る収入は営業外収益として計上しており、また営業費用については各報告セグメントへの配賦を行なっておりません。

２．セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用2,395百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務、経理などの本社機構の費用及び研究開発の費用であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自平成24年４月１日　至平成24年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						調整額（注２）	四半期連結損益計算書計上額（注３）
	化成品事業	化学品事業	高分子事業	印刷総合システム事業	その他事業（注１）	計		
売上高								
(1)外部顧客への売上高	11,826	40,234	8,327	14,488	947	75,825	―	75,825
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	158	16	34	0	7,601	7,810	(7,810)	―
計	11,984	40,251	8,362	14,488	8,549	83,636	(7,810)	75,825
セグメント利益（営業利益）（△損失）	2,002	2,338	1,511	1,226	△3	7,074	(2,353)	4,721

（注）１．「その他事業」の営業損失は、当事業において当社グループ会社等への不動産管理、金融事業などの役務提供を営む会社が含まれているためであります。当事業に係る収入は営業外収益として計上しており、また営業費用については各報告セグメントへの配賦を行なっておりません。

２．セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用2,353百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務、経理などの本社機構の費用及び研究開発の費用であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

（６）その他

役員の異動（平成24年12月１日付）

氏名	新役職名	旧役職名
井上　隆一	常務取締役 購買・管理部門担当	常務取締役 購買部門担当

以上